## 基準４－１　教育研究組織及び教育課程に対応した施設及び設備が整備され、有効に活用されていること

分析項目４－１－７　研究成果を継続的に生み出すための研究環境が十分に整備され、効果的に利用されていること（より望ましい取組として分析）

【分析の手順】

・研究環境の整備状況については、その環境を必要とする教員・学生が効果的に利用できるような状態になっていることを確認する。

・研究環境の整備等、特色ある研究環境の構築により優れた研究成果が継続的に得られている場合は、その内容について確認する。

※この分析項目は、項目の内容を十分に実現し優れて機能している場合に限り、分析する。

・研究環境整備状況一覧（別紙様式４－１－７）

| 名称 | キャンパス・棟 | 主な設備 | 主に利用する学部・研究科等 | 主な研究成果 |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |